

第14回 NIAS 国際ワークショップ
－ マメ科作物 (*Glycine* と *Vigna*) の遺伝資源と比較ゲノム －

(趣旨)

Glycine と *Vigna* はアジア地域の農業にとって最も重要なマメ科作物である。農業生物資源研究所 (NIAS) は近縁野生種を含めたそれらの遺伝資源を保存し、利活用に向け、他研究所等と共同で比較ゲノム研究を実施している。本研究会では、アジア諸国からマメ科作物研究の専門家を招き、アジア地域でのこれら植物遺伝資源の保存と利活用促進を図るため、最新情報を共有し、今後の共同研究の方向・進め方を討論する。

(日時) 平成 21 年 9 月 14 日 (月) 9:20~17:15

(場所) 農業生物資源研究所 (本部) 構造生物学研究棟付属施設 (ANNEX) 2 階共用第 3 会議室

(参加申込) 事前に以下へ E-メールにてお申し込みください

※農業生物資源研究所ジーンバンク 友岡憲彦 (tomooka@affrc.go.jp, TEL: 029-838-7474)

プログラム

9:20~9:30 開会挨拶 (廣近洋彦 基盤研究領域長)

9:30~10:30 I. 遺伝資源

9:30- 10:00 *ダイズ* の遺伝資源 (ダンカン・ヴォーン : FAO/生物研ジーンバンク)

10:00- 10:30 *Vigna* の遺伝資源 (友岡憲彦 : 生物研ジーンバンク)

10:30- 10:40 休憩

10:40~12:10 II. ゲノム資源と比較ゲノム

10:40-11:10 *ダイズ* のゲノム (原田久也 : 生物研ダイズゲノムチーム)

11:10-11:40 *Vigna* のゲノム (加賀秋人 : 生物研ダイズゲノムチーム/ジーンバンク)

11:40-12:10 *Vigna* の形質転換 (P.K. Jaiwal : インド MD 大学)

12:10-13:30 昼食

13:30~16:40 III. アジアにおけるダイズと *Vigna* の生産、育種の現状と展望

13:30-14:00 日本 (羽鹿牧太 : 作物研究所)

14:00-14:30 インド (M. Pandiyan : インド・タミルナドゥ農業大学)

14:30-15:00 タイ (P. Srinives : タイ・カセサート大学)

15:00-15:30 ラオス (K. Kanyavong : ラオス・農業研究センター、農業林業省)

15:30-15:40 休憩

15:40-16:10 インドネシア (R. Soehendi : インドネシア農業開発局)

16:10-16:40 中国 (X. Cheng : 中国農業科学院、J. Tian : 河北省農業科学院)

16:40~17:10 総合討論

閉会挨拶 (河瀬眞琴 : 生物研ジーンバンク長)

(協力) 北海道立十勝農業試験場、北海道農業研究センター芽室研究拠点、株式会社雪国ハイフーズ、株式会社雪国まいたけ、三富実業株式会社